



いつのまにやら地域づくり 事例集

「やってみたい」
からはじまる

誰でも参加できる
みんなで取り組む

自由な発想が
生まれる
おもしろい！
たのしい！

地域共生社会とは、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野の壁や支え手・受け手という関係を超えて、地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、互いに支え合い、生きがいや役割を持って暮らせる包摂的な社会をいいます。

はじめに…

「いつのまにやら地域づくり事例集」は、地域共生社会を見晴らす高台になればと考えてつくったものです。
ここにある22の地域活動に触れて、皆さん一人ひとりが描く
“ともに生きる社会”を見晴らせるヒントになれば嬉しいです。



「第四の縁」

ひきこもりや8050問題といった生きづらさの多様性は、昔から存在していましたが、血縁、地縁、社縁、安定した雇用等による生活保障が、これを受けとめ、支えてきたのです。

複雑化・複合化する困りごとに対して「もう一度昔に戻ろう」ではなく、今の時代に合った、新たな支え合いのカタチをつくろう。それが、興味関心と分かち合いから生まれる「第四の縁」です。



「暮らしに線引きはない」

暮らしの困りごととは、身寄り問題や再犯防止のように、専門的な支援を必要とするものばかりではありません。空き家の草刈り、医療受診の交通手段、災害時の心配なども身近にある暮らしの困りごとです。

そもそも、ひと続きの暮らしは、分野にも領域にも分けられない人の営みです。

「暮らしに線引きはない」という意識が大切です。



「エンパワメント」

「地域づくり」を、専門家や行政ばかりで考えると、どうしても、公平公正で完璧に近いものをめざそうとしてしまいます。そうすると、結果的に地域住民の共感が得られないものになったり、身近な暮らしから離れた施策になってしまいます。

これからの行政に求められる力は、多様な主体に働きかけ、地域住民の力を活かして「暮らしの困りごと」を解決していくことです。

つまり、共助をエンパワメントするための公助です。



「小さく、まとまりのないもの」

地域全体で機能する立派な仕組みやシステムをつくることは容易ではありませんし、管理・統制された窮屈なものになってしまう場合もあります。

本来、コミュニティというものは、多様で雑にできています。知る人ぞ知るつながりが暮らしの中にはたくさんあって、そういった小さくて、まとまりのないもので地域は成り立っています。

この事例集は、100あるうちの22の事例を紹介しています。ここには載っていない78の活動が、このまちにあることを想像してみてください。



＊ 「弱さを価値とする地域へ」

一人の困り事（個）をみんなで考えて、それを地域課題と捉え、地域づくり（普遍）にまで押し上げるプロセスが、地域共生会の実現につながっていきます。

そして、地域のカラーは、そのプロセスにある対話によって色づけされるのだと思います。

例えば、再犯防止の取り組みについて、犯罪者を閉じ込めてしまう地域となるか、生きづらさを抱えたままでも「大丈夫」と実感できる地域となるのか。

一つひとつの対話で、向かう先が変わってくるような気がします。

「いつのまにやら」

指をくわえて待っていれば、いつのまにやら地域共生社会が
できあがってしまう、そういう意味合いで使用しているのでは
ありません。

「いつのまにやら」は、短期的な成果のみで取り組みを評価
することなく、長期的なプロセス自体を評価していくための
言葉です。

甲賀市発「いつのまにやら」の意味づけ

- 対話を大切にし、認め合うこと
- チームで取り組むこと
- 変化を面白がること、変化を恐れないこと
- トライ＆エラーを繰り返して続けること
- 記録を残してPDCAサイクルで動かすこと

「分かち合い」を意識してみる

◎暮らしの困りごとと、地域住民の興味・関心は勝手につながらない

◎コーディネーターが使用する接着剤として「分かち合い」が必要

ひきこもり
福祉人材の不足
多頭飼育崩壊
ヤングケアラー

【暮らしの困りごと】

非行少年の問題
不登校児童・生徒
居場所のない若者
身寄り問題

分かち
合い

園芸・手芸
カフェ・哲学
レストラン
ゲーム・カメラ

【興味・関心】

絵画・犬や猫
音楽・演奏
スポーツ・登山
料理・お菓子作り

【すき間の困り事全般】 × 【ワールドカフェ】 イノベーションサロン

目的 専門職同士、または専門職と地域住民との顔の見える関係づくり

きっかけ 福祉専門職が集まって情報交換し、励まし合える場をつくりたい

内容 4人のカフェマスターをゲストに福祉、保健、医療、教育、生活、困窮、外国人支援、マイノリティ等をテーマにワールドカフェ形式で対話

- 開催頻度：年に1～2回
- 場所：みなくるプラザ 他
- 主催：みんなでe-こうか



【生活困窮者】 × 【炊き出し】

年の暮れの夕暮れに

目的

生活困窮者などの年末にひとりで過ごす方々に、
温かい気持ちで新年を迎えてもらいたい

きっかけ

断らない相談支援、炊き出しをやってみたい

内容

年末に炊き出しでもてなし、ゲームなどで交流

■ 開催頻度：毎年12月30日

■ 主催：年の暮れの夕暮れに実行委員会



【多頭飼育崩壊】

× 【人と動物の共生】

こうが人福祉・動物福祉協働会議

目的 子どもたち、高齢者、障がいのある方、
そして犬や猫にも優しい地域づくり

きっかけ 多頭飼育ケースの背景にある人の問題を考えて

内容 官民協働の定例会議、市民や児童への啓発
わんにゃんボランティア養成講座

開催頻度：月1回の定例会議

場所：市役所内

主催：こうが人福祉・動物福祉協働会議



【不登校生徒・児童】

× 【けん玉】

誰でもチャレンジけん玉道場

目的

得意なけん玉で交流

きっかけ

得意なことを見つけて伸ばす自己肯定感を育む
場所がほしいな

内容

けん玉（得意なこと）をツールに交流する居場所

- 開催頻度：月2回 17:00～
- 場所：アルプラザ水口内
- 主催：誰でもチャレンジけん玉道場
- 連絡先：koka.kendama@gmail.com



▲Instagram



【欠食児童】 × 【朝ごはん】 おっちゃんのおむすび商店

目的 朝ごはんを食べていない子どもに朝ごはんをしっかりと
食べる毎日を過ごしてほしい

きっかけ 生活リズムの悪循環から学校に通えない子どもたちと
の出会い

内容 おむすびの提供
不登校傾向の児童、生徒、若者の居場所づくり

■ 開催頻度：毎週月曜日

■ 場所：甲南町中部小学校地先

■ 主催：社会福祉法人甲南会

連絡先：おっちゃんのおむすび商店 TEL：0748-86-1020



【学校へ行きづらい子】

× 【よりそう】

甲賀市教育委員会認定フリースクール スマイル甲賀ほっとルーム

目的

学校へ行きづらい子どもたちが安心できる居場所づくり

きっかけ

学校へ行きづらい子の多さを知って

内容

調理やパソコンを通じた交流、居場所の確保

- 開催頻度：毎週 月・水・金 10:00～15:00
- 場所：市営住宅大原中団地集会所
- 主催：スマイル甲賀 TEL：090-8377-7972



【福祉人材確保・定着】

× 【交流】 【互助】

社会福祉法人連携 KOKA SynergyLink (シナジーリンク)

目的

市内の社会福祉法人らが共通する課題に対して、
公益的な取り組みがしたい、様々な波及効果を生みたい

きっかけ

法人連携研修会後の飲み会

内容

人材確保、人材定着のために現地視察、情報交換
福祉避難所運営

- 開催頻度：月に1回の定例会 研修会などは随時
- 場所：法人輪番
- 主催：シナジーリンク
- 連絡先：代表 橋本善信（甲賀学園） 事務局 田中俊之（絆敬会）
TEL:0748-63-5670



【不登校生徒・児童】

× 【食堂】 【フリースクール】

こどもの居場所 ばあちゃんち

目的 不登校の子どもたちを、ばあちゃんが温かく迎えたい

きっかけ 不登校の子が増えていると聞いたから

内容 昼食の提供、子供たちや保護者の居場所、若者の居場所

開催頻度：月に2回 第1・3金曜日

場所：水口町本町3丁目1-18

主催：こどもの居場所 ばあちゃんち
連絡先：080-2403-3139



【生きづらさ】 × 【哲学】

哲学カフェ甲賀mysing

目的

自由な思考で言葉を紡ぎ、人としてよりよく
生きるための気づきを一緒に見つける場所

きっかけ

生きづらさを持つ若者からの提案をきっかけに

内容

お茶を飲みながら、みんなで決めたテーマで
対話する

- 開催頻度：2ヶ月に1回
- 場所：cafe awa-isa
- 主催：哲学カフェ甲賀mysing



【居場所を探している子ども】 × 【サッカー】

放課後キヨロいつでもおいで

目的 おとなしくても、やんちゃでも、一緒に体を動かすだけでいい場所がほしい

きっかけ 参加する資格なんてなにもいらない居場所がほしい

内容 芝生で気楽にサッカーしよう

- 開催頻度：毎週水曜日 18：30～
- 場所：甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」の中庭
- 主催：キヨロちゃん



【難病当事者】 × 【居場所】

難病カフェゆるり

目的 難病当事者やその家族が、お互いの悩みを打ち明けながら、やりたいことを実現する

きっかけ 県内にある難病応援センターの活動を知ってから

内容 おしゃべり、歌、食事作り

- 開催頻度：2ヶ月に1回
 - 場所：甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」
 - 主催：難病当事者や家族の集まり ゆるり
- 連絡先：（世話人）松村 090-6968-7277
 齒黒 090-1144-7468
メール：a.chan.hug@gmail.com



【認知症予防】

× 【ふるさと自慢】

地域(ふるさと)回想法

目的

昭和のつながりこそ地域共生の原点。「暮らしの中にある昭和のつながり」を伝えたい

きっかけ

昭和の暮らしの記憶の見える化として、ふるさと絵屏風を制作

内容

民具を使った回想法、昔話、歌

- 開催頻度：随時
- 場所：最寄りの地域
- 主催：地域回想仕掛人



【福祉人材確保・定着】

× 【未来の介護】

抱え上げない介護 (ノーリフティング)



目的

介護する人も介護される人も、安心・安全・安楽な介護を普及させたい

きっかけ

力任せの介護による不適切なケアが介護のイメージを悪化させ、担い手不足を助長している現状に課題を感じてたから

内容

出前講座・福祉用具体験会・介護方法の相談
多職種の情報共有サイト運営

開催頻度：随時

主催：オール甲賀deやさしい介護つなげ隊



←フェイスブック



【専門職の悩み】 × 【おとなの学び】

笑察 《省察》 カフェ

目的

対人専門職のスキルアップ、エンパワメント、
省察的実践家の育成

きっかけ

複雑、困難なケースに対する解決能力や多職種
連携の必要性

内容

対話によるラウンドテーブルや気づきと
ふりかえりの言語化

- 開催頻度：3ヶ月に1回
- 場所：土山町豊壽園内カフェ ほか
- 主催：KOKAプロボノの会



◀ ホームページ



【合理的配慮】 × 【余暇活動】

余暇活動グループ さんりんしゃ★レディース

目的

いろいろな社会的な支援や、合理的配慮があると
過ごしやすい方たちへの日中余暇活動の提供

内容

昼食づくり・片付け、お楽しみ活動
(ゲーム・運動・散歩 など) マラソン大会参加
電車遠足・クラフト・映画鑑賞・タイムケア事業協力

- 開催頻度：さんりんしゃ 月1～2回(土) 9:30～15:00
レディース 月1回 10:00～13:00
- 場所：甲賀町かふか生涯学習館
- 主催：余暇活動グループさんりんしゃ★レディース
- 連絡先：田畑恵美子 0748-88-3981



【高齢者・社会的孤立者】

交流サロン × 【居場所】 WEST VILLAGE

目的 楽しみや生きがいを見出し、社会参加への意欲を高める

きっかけ ご近所や知り合いの高齢者・社会的孤立の心配な方が、
気軽に楽しんで来てもらえる居場所を提供したい。

内容 季節の歌・懐かしいメロディ・コグニサイズ・ゲーム・
クイズ・ゲスト（楽器演奏・手品・紙芝居・腹話術など）
の招聘・お茶とお菓子を用意しての歓談

開催頻度：原則 月2回 火曜日 14:00～

場所：甲南町寺庄1207番地 「西村自宅」

主催：WEST VILLAGE



【体験不足】

× 【生き物好き・自然体験】

野洲川エコスクール

目的 自然体験を通じて、生きる力や豊かな感性を見い出す

きっかけ 経験不足の子どもたちの増加への危惧、発達特性のある子どもたちの強みを生かしたいとの思い

内容 野洲川や里山での生き物観察会、水質調査、ゴミ拾い
年に1回は壁新聞づくりや発表会

開催頻度：月に1回 日曜日

場所：野洲川上流付近

主催：山内エコクラブ



◀ ホームページ



【つながりづくり】

× 【対話の場】

ワカモンラウンド

目的 39歳以下の若者世代のつながりづくりと地域参画

きっかけ 地域に若者の居場所が少ないことに危機感を感じて

内容 定期的に、ざっくばらんに語り合う対話の場づくり
をワークショップ形式で実施

開催頻度：1～2ヶ月に1回

主催：ワカモンラウンド実行委員会



【障がいのある人とその家族】

× 【音楽と花と居場所】

音と花と人と

目的

障害がある人やその家族とサポーターが音楽を通して交流する

きっかけ

同じようにつらい思いをしている人たちとつながりたいと思う気持ちから

内容

ハンドベル練習、茶話会、音楽会

ブログ▶



開催頻度：月に1回

場所：キラリエ草津市総合交流センター、花鈴人（かりんと）
甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」、すまい鈴（すまいりん）

主催：音と花と人と 大津市浜大津4-1-1

明日都浜大津1階市民活動センターメールボックス50番

メール：tototonokai@gmail.com



【認知症予防】 × 【居場所】

地域脳トレ教室和来やサロン

目的 楽しく交流しながら脳を活性化し、困った時に気軽に相談できる関係づくり

きっかけ カフェを中心に地域の方と繋がる機会を作りたいとの思いから

内容 脳トレ問題、コグニサイズ、クイズ、ゲーム
コーヒータイム

開催頻度：第1、第3月曜日

場所：甲南町野川

主催：田舎café和来や

連絡先：和来やサロン代表 090-1141-1109



【はたらく体験】 × 【居場所】

甲賀はたらく体験 ぶらんけっと

目的 ひきこもりなど所属をもちづらいの方々に対して、作業体験を通して、社会参加の機会を提供する

きっかけ 所属のない方の居場所として

内容 そばの実の選別（BGMの流れる部屋でお茶を飲みながら）、車の洗車 など

- 開催頻度：毎月第3金曜日 10：00～12：00
- 場所：甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」
水口社会福祉センター ほか
- 主催：甲賀市社会福祉協議会（甲賀はたらく体験事務局）
連絡先：0748-76-3287（甲賀市社会福祉協議会 地域福祉課）



【ひと息】

× 【出合い】 【つながり】

ほっとひといき処

目的

日々の生活の中、それぞれに様々な思いや負担を抱え過ごしている人がいます。
そんな方々が少しでもほっとひといきつける場所を作りたいと思いました。

きっかけ

夏の連続講座 #いつのまにやら〇〇〇〇

内容

自由に安心して過ごせる場所の提供

- 開催頻度：月2回 水曜日 18:00~20:30
- 場所：甲賀市まちづくり活動センターまるーむ キッチンスペース
- 連絡先：インスタグラム「gyo02」



【めざす地域づくり】

誰もが、何がしかの縁に属している状態
一人ひとりの日々の「いいね！」を
認め合い 許し合える

その私的な縁や緩やかなつながりを公的な
ものとして寛容に受けとめる地域へ

この事例集は、重層的支援体制整備事業として、甲賀市内の
地域資源の取り組みを掲載しています。

本冊子が、地域の多様な実践をつなぎ、新たな連携と創意工夫を
生み出す一助となれば幸いです。

お問い合わせ先

甲賀市地域社会共生推進課

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053 ☎0748-69-2155

甲賀市社会福祉協議会 地域福祉課

〒528-0005 甲賀市水口町水口5609 ☎0748-76-3287

The background is white and decorated with various colorful watercolor-style circles and shapes. The colors include blue, pink, orange, green, and yellow. Some shapes have a dotted pattern. The circles are of different sizes and are arranged in a scattered, artistic manner around the central text.

～地域資源の見える化にむけて～

発行：甲賀市社会福祉協議会・甲賀市
重層的支援体制整備事業の委託を受けて発行しています